

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	高潮・高波等に対する耐波性能確認に係る波浪変形計算業務
業 務 概 要	近年、全国的に頻発している高潮・高波等による護岸等の損傷・倒壊や、大規模な浸水被害の発生に対して、中国地方整備局管内の既存港湾施設(構造物)の耐波性能及び、その背後地への影響を確認するために必要となる構造物の堤前波を算定するものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所長 嘉屋健二 国土交通省中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所 広島市南区宇品海岸3-10-28
契 約 年 月 日	令和2年6月1日
契 約 業 者 名	高潮・高波等に対する耐波性能確認に係る波浪変形計算業務 エコー・日本港湾コンサルタント設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都台東区北上野二丁目6番4号
契 約 金 額	47,080,000円(税込み)
予 定 価 格	47,112,649円(税込み)
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、近年、全国的に頻発している高潮・高波等による護岸等の損傷・倒壊や、大規模な浸水被害の発生に対して、中国地方整備局管内の既存港湾施設(構造物)の耐波性能及び、その背後地への影響を確認するために必要となる構造物の堤前波を算定するものである。</p> <p>簡易公募型プロポーザル方式により手続き開始の公示を行ったところ、11社から参加表明書が提出された。</p> <p>広島港湾空港技術調査事務所建設コンサルタント等選定委員会により、提出された参加表明書について資格要件及び専門技術力等を評価し、6社へ技術提案書の提出要請を行った。</p> <p>提出された技術提案書について、同委員会により総合的に評価した結果、高潮・高波等に対する耐波性能確認に係る波浪変形計算業務エコー・日本港湾コンサルタント設計共同体を本業務の契約相手方として特定したものである。</p> <p>以上により、会計法第29条の3第4項、予決令第102条の4第3項に基づき、同社と随意契約を行うものである。</p>
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	令和2年6月1日
履 行 期 間 (至)	令和2年11月27日
備 考	